

中学生連載企画
私たちのふるさと松山学 No.23
 湯山中学校

いろいろな人の力で築かれた
ふるさと「湯山」めぐり

私たちは、ふるさと「湯山」の里を巡りながら普段あまり意識していない地域の特色や歴史、産業などについて調べまとめました。

松山平野の水のふるさと湯山

私たちの住んでいる湯山地域の真ん中を石手川が流れています。石手川には農

業用水などを引くための堰がたくさんありますが、その中でも湯山地域に多くの堰があります。今回の調査では寺井堰、草場(葉堰)、市(一)之井手堰の3カ所を

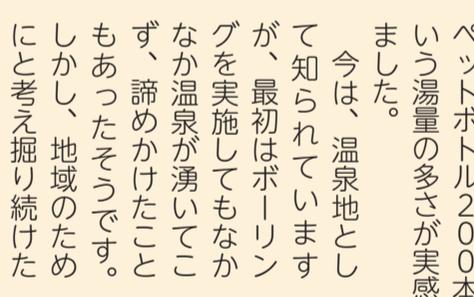
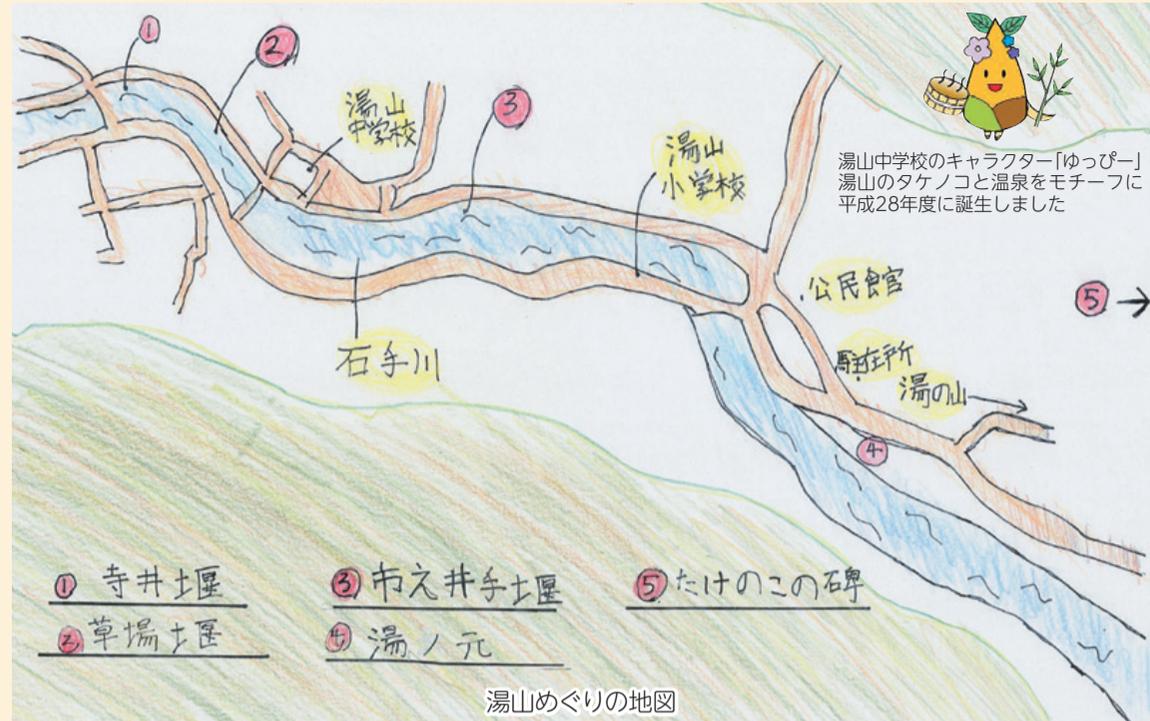
調べました。寺井堰は、天保13年(1842)に三浦正左衛門によって改修されたといわれています。その業績を顕彰した頌功碑が建立されています。

湯山から連想するものとして聞かれたら「タケノコ」と答える人も多いのではないのでしょうか。タケノコは湯山地区の農家にとって中心作物の1つです。「湯山タケノコ」として人気が高く、白くて肉質が柔らかく、えぐみが少ないのが特徴です。タケノコの品種である孟宗竹は中国の江南地方が原産といわれ、今から約200年ほど前に旧杉立村の宮本作右衛門が京都から種竹として2本持ち帰ったのが松山地方

における草分けであると語り伝えられています。湯山地域の山中にはそれを記念する「湯山筍(たけのこ)発祥之地」の記念碑が建てられています。また湯山公民館では毎年4月下旬に、タケノコへの理解を深めてもらうため、記念碑の参拝やタケノコ掘り大会を開催しています。このような「湯山タケノコ」の良さをこれからもたくさんの人に知ってもらいたいと思います。

結果、湯量豊富な源泉を掘り当て今の温泉が完成し、市内のホテルにも引き湯をしているそうです。この源泉を利用して地元のホテルでは源泉100%掛け流しで提供し、国内の観光客だけでなく、海外の人からも人気で温泉治療や美容に効果があると言われていそうです。これからも湯の里らしく温泉が湧き続けることを願っています。

「語り継ぎたいふるさと松山百話」I・II・III



松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10〜14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることが出来ます。

湯山めぐりの地図

寺井堰

竹林の中にある記念碑

湯ノ元源泉

ふるさと「湯山」を未来へつなげたい



普段は何気なく通っている道、見ている川、山の中に堰や温泉、タケノコなど、ふるさと「湯山」を築いた人の足跡があることを知りました。昔の人の努力を尊敬しながら、私たち若い世代が未来へつなげていきたいと思います。

左から戒能圭伍さん、向井圓之介さん、秋岡ちひろさん、岡部実生さん(いずれも1年)